



広報たじみで
「広報たじみ」を
持ち歩く！

編集発行 多治見市役所 企画部 秘書広報課
〒507-8703 岐阜県多治見市日ノ出町2丁目15番地 ☎0572(22)1111
FAX 0572(24)3679 ✉hkyok@city.tajimi.lg.jp
http://www.city.tajimi.lg.jp/ [Eメール]http://www.city.tajimi.lg.jp/mobile



多治見市緊急メールに登録してください
携帯電話に緊急情報を送信します
https://service.sugumail.com/tajimi

人が温かいまち

私は人情味あふれる名古屋の下町で育ちました。両親は喫茶店を経営していたため忙しく、子どもの私を構う時間はほとんどありませんでしたが、祖父や商店街の皆さんに可愛がっていただいたおかげで寂しくありませんでした。

結婚して多治見に移り住みましたが、ここには私を育ててくれたまちと同じ「温かさ」がありました。その他にも、多治見に引き付けられた理由はいくつもあります。例えば、橋から見る土岐川と山の風景は今でも立ち止まってしまうほど感動的です。7月にオープンした虎渓用水広場はとても雰囲気があります。多治見は探さずともいろんな場所にアート(芸術)が落ちているまちです。だから、陶芸を中心に多分野のアーティスト(芸術家)たちが

集まってくるのだと思います。形の無いものだけどこでも多治見の素晴らしいところだと思います。

子育ては心豊かに

結婚して多治見に来たにもかかわらず、私はシングルマザーとして周りの理



多治見まちづくり株式会社
事業課長 五島智明さん(大日町)

解と協力のもと仕事と子育てをすることになりました。子どもにはいつも寂しい思いをさせています。が、二度も「仕事を辞めてほしい」と言われたことはありません。私が楽しく仕事をしているのを子どもながらに感じている

べからだと思えます。そうは言っても、いろんな人に迷惑を掛け、頭を下げてまで仕事を続ける意味があるのか悩んだこともあります。それでも私は、楽しく、心豊かに、幸せな子育てをしていると胸を張っ

て言うことができます。

まちづくりを応援

TMO(多治見まちづくり株式会社)に入ったのは6年前。最初の仕事は「カフェ温土」の立ち上げでした。早朝から深夜まで働

き詰めの中、初めて人間関係の難しさを知りました。毎日葛藤し、苦しみ、歩み寄ることの大切さを勉強しました。カフェ立ち上げ間もないころ、多治見西高等学校の「*チャレンジショップ」に関わったことがあります。私が商品開発とレシビ、東濃信用金庫さんが原価計算などを担当し、商売に発展させるにはどうしたらいいかまで掘り下げる授業です。TMOの仕事には「これ」といった定義がありません。だからこそ、楽しくてやりがいを感じています。チャレンジショップで私は、自分の違う可能性を見つけることができました。

まちづくりのキーワードは、「人」だと思います。多治見には「まちをこうしたい」という意欲的な人が多くいます。私はそういう人たちをずっと応援していきたいと思っています。
※実際に商品開発販売などを行い、経営について学ぶ授業



輝く女性

本連載では、市内の事業所や地域など、さまざまな分野で活躍する女性のインタビューを掲載します。

人口と世帯数の動き		
平成28年8月1日現在		
総人口		
112,887人	(前月比)	-36人
男 54,967人	(前月比)	-41人
女 57,920人	(前月比)	+5人
世帯数		
45,636世帯	(前月比)	+30世帯

200円バスでどこ行こう

虎渓用水広場でのんびりと
多治見駅北にオープンした水とみどりの「虎渓用水広場」。虎渓用水を広場にめぐらせて、木陰と水音がまちなかの空気をひんやりと心地よくしてくれています。

ミストや噴水で遊ぶ子どもの声など広場ににぎわいも楽しく、いやされ、心おどる空間です。金、土曜日は午後5時から「えききたビアガーデン」も9月10日までやっていますよ。

多治見市内 平日10時から16時 1乗車200円の東鉄バスで!